

臨床研究に関する情報公開

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、個別の説明と同意を得る代わりに、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

【研究課題】

腰椎単純 X 線画像における新鮮圧迫骨折の定量的判定法 — 散乱線補正処理を使用した検討 —

【研究責任者】

斗南病院 放射線部 佐々木 亮祐

【研究目的】

椎体骨折において新鮮圧迫骨折か陳旧性圧迫骨折なのかを診断することは、今後の治療方針を決めるのに重要である。新鮮か陳旧性かを診断するために一般的には MRI を実施するが、MRI は背中中の激しい痛みを伴う患者にとって耐え難い場合がある。また、緊急時にすぐに検査を実施するのも困難である。単純 X 線撮影は椎体骨折鑑別の第一選択の画像検査である。単純 X 線画像から新鮮圧迫骨折の判定方法もあるが、その方法は椎体側面像で椎体高の変形を目視で確認する半定量的方法である。経時的に X 線画像を撮影している患者を除き、新規患者の救急撮影の場合においては単純 X 線画像のみでは新鮮圧迫骨折か陳旧性圧迫骨折なのかを判定するのが困難である。そこで本研究では、椎体側面の単純 X 線画像において、本来使用しない散乱線補正処理を段階的に施すことにより生じる各椎体の画素値の変化を調査し、単純 X 線画像において新鮮圧迫骨折を定量的に判定できるか検討する。

【研究期間】

機関長許可後から 2026 年 4 月 30 日まで

【研究対象】

2024 年 6 月～2025 年 1 月の期間において、当院で腰椎単純 X 線撮影、MRI を施行した患者画像データ

【研究に利用する情報】

腰椎単純 X 線画像、MRI 画像

【個人情報の取扱い】

研究に携わる者は、個人情報の取扱いに関して、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」、「個人情報の保護に関する法律」及び適用される法令、条例等を遵守する。調査により得られた情報を取扱う際は、研究対象者の秘密保護に十分配慮し、特定の個人を識別することができないようにする。本研究結果が公表される場合にも、研究対象者個人を特定できる情報を含まないこととする。また、本研究の目的以外に、本研究で得られた情報を利用しない。

* 上記の研究に情報を利用することをご了承いただけない場合は以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

斗南病院

放射線部 佐々木 亮祐

電話 011-231-2121